



地震のときたんすや本だなは、どうすればたおれないの

柱やかべに固定する

1978年の宮城県沖地震のときには、ある団地の上のほうの階で、本だなや食器だなの、80～90パーセントがたおれた、といわれています。震度5以上の地震では、ほとんどの家具が、たおれるといわれています。

家具を少しでも、たおれにくくするために、置く場所や、置き方をくふうします。家具を置くときは、できるだけ、窓ぎわにつけて置きます。たたみに置くときは、直接置くよりも、ベニヤ板をしいて置きます。また、家具の底に、すべり止めをつけるか、じゅうたんの上に置きます。地震で、たんすや本だななどの家具が、たおれないようにするには、かべや柱などに、ぴたりとくっつけて、補強の木材、木ねじ、ヒートンなどを使って固定します。

寝る部屋には家具を置かない

昼間ならば地震がきても、にげたり、テーブルの下などに、かくれたりすることができます。しかし、夜寝ているときに、家具がたおれてきたら、にげることができず、たいへん危険です。いちばん安全な方法は、寝る部屋に、家具を置かないことです。

(監修・国司 真)

